■2020年度決算概要および中期事業計画「R1」の進捗状況について、ご説明いたします。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

目次

FDK

1. 2020年度の業績
2020年度連結決算概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
営業利益変動要因（前年度比） ・・・・・・・・・・・・ 4
連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
セグメント別情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2. 2021年度（通期）見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

3. 中期事業計画「R1」の進捗状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 9

© 2021 FDK CORPORATION

■今回ご説明させていただく内容です。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

2020年度連結決算概要

FDK

（単位：億円）

	2019年度	2020年度	前年度比	増減率
売上高	621.2	615.4	△5.7	△0.9%
営業利益 （営業利益率）	8.4 （1.4%）	17.4 （2.8%）	+9.0	+107.3%
経常利益 （経常利益率）	5.6 （0.9%）	12.7 （2.1%）	+7.0	+125.5%
当期純利益※ （当期純利益率）	△23.4 （△3.8%）	20.0 （3.3%）	+43.5	― %

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	△67.82円	58.24円	+126.06円

為替レート （円/1USD）	109.13円	105.79円	△3.34円
（円/1EUR）	121.29円	123.22円	＋1.93円

© 2021 FDK CORPORATION

■はじめに、連結決算概要です。

■電池事業の売上高はニッケル水素電池とアルカリ乾電池、リチウム電池が増加したことにより、増収となりました。電子事業の売上高は前年度に実施した一部事業の譲渡による売上減やトナーなどが減少したことにより、減収となりました。この結果、全体の売上高は前年度に比べ5.7億円減少の615.4億円となりました。

■営業利益はアルカリ乾電池とリチウム電池の売上増、電子事業の選択と集中による損益の改善と前年度に実施した一部事業の譲渡ならびに転進支援制度に伴なう固定費の減少により、前年度に比べ9億円増加の17.4億円。

■経常利益は為替差損4.3億円の計上などがありましたが、前年度に比べ7億円増加の12.7億円。

■当期純利益は関係会社株式売却益9.6億円などの計上により、前年度に比べ43.5億円改善の20億円となりました。

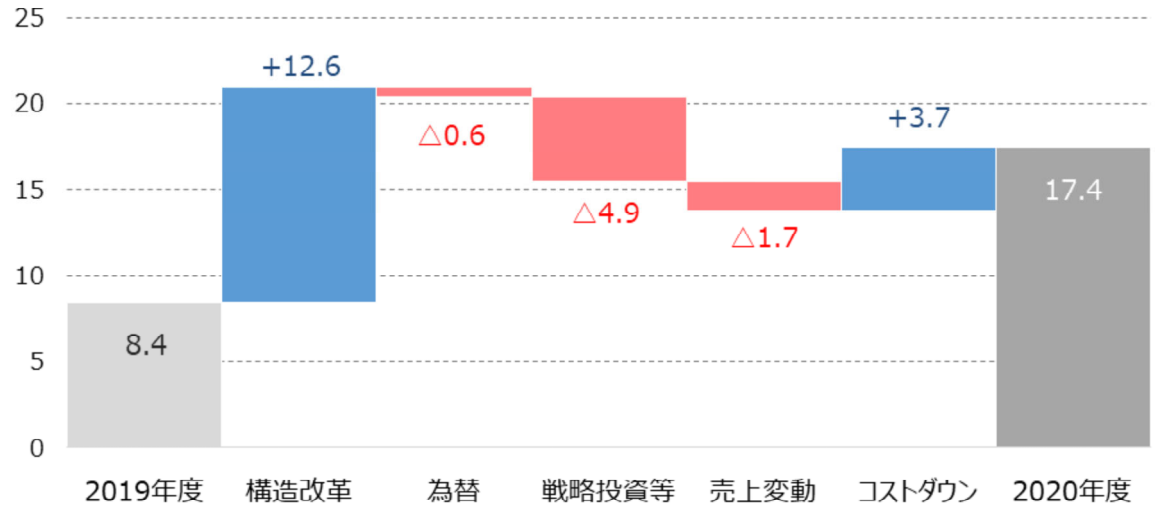
Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

営業利益変動要因（前年度比）

FDK

（単位：億円）

	2019年度	2020年度	前年度比	
				増減率
営業利益 （営業利益率）	8.4 （1.4%）	17.4 （2.8%）	+9.0	+107.3%



© 2021 FDK CORPORATION

■次に、営業利益の変動要因です。

■前年度に実施した電子事業の一部事業譲渡および転進支援制度、2020年度に実施した子会社株式譲渡などの構造改革で12.6億円増益となる一方、為替で0.6億円減益となりました。

　戦略投資等で4.9億円、売上変動で1.7億円の減益影響はありましたが、コストダウンで3.7億円改善し、前年度に比べ9億円増益の17.4億円となりました。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

連結貸借対照表

FDK

（単位：億円）

科 目	2019年度	2020年度	増減	科 目	2019年度	2020年度	増減
流動資産	333.2	323.4	△9.8	流動負債	360.9	337.7	△23.1
				(短期借入金)	(188.0)	(149.0)	(△39.0)
固定資産	143.5	157.1	+13.6	固定負債	48.5	33.9	△14.5
				負債合計	409.4	371.7	△37.7
				株主資本	98.6	117.5	+18.8
				その他の包括利益累計額	△31.2	△8.6	+22.5
				純資産合計	67.3	108.8	+41.4
資産合計	476.8	480.6	+3.7	負債純資産合計	476.8	480.6	+3.7

自己資本比率	14.1%	22.6%	+8.5pt	有利子負債残高	191.8	151.1	△40.6
ROIC※	2.1%	5.9%	+3.8pt				

※ROIC＝税引後営業利益/（自己資本＋有利子負債）

© 2021 FDK CORPORATION

■次に、連結貸借対照表です。

■総資産は、前年度に比べ3.7億円増加の480.6億円となりました。

■流動資産は前年度に比べ９.8億円減少の323.4億円、固定資産は前年度に比べ13.6億円増加の157.1億円となりました。流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が６.3億円増加しましたが、現金及び預金が20億61百万円減少したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、リチウム電池やSMD対応小型全固体電池への設備投資などにより有形固定資産が13.8億円増加したことによるものです。

■負債合計は前年度に比べ37.7億円減少の371.7億円となりました。

■流動負債は前年度に比べ23.1億円減少の337.7億円、固定負債は前年度に比べ14.5億円減少の33.9億円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払金が15.5億円増加しましたが、短期借入金が39億円減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が12.８億円減少したことによるものです。

■純資産合計は前年度に比べ41.4億円増加の108.8億円となりました。

純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより利益剰余金が20.9億円、退職給付に係る調整累計額が12.2億円、為替換算調整勘定が9.9億円それぞれ増加したことによるものです。

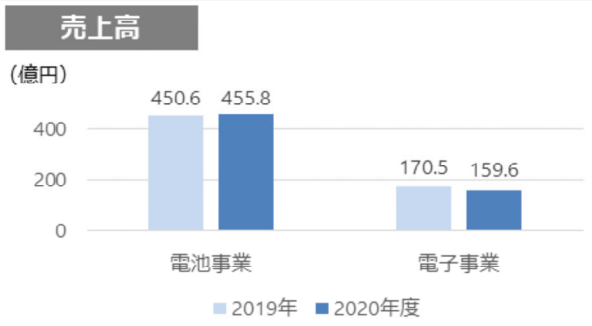
■有利子負債残高は、主に短期借入金の返済により、前年度に比べ40.6億円減少の151.1億円と直近10年間で最も低い水準になりました。

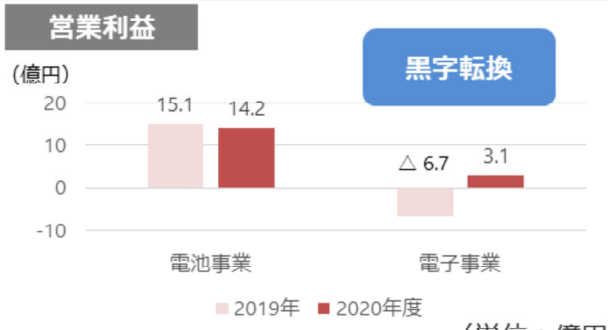
■ROICは、5.9%となりました。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

セグメント別情報

FDK





(単位：億円)

		2019年度	2020年度	前年度比	
					増減率
電池事業	売上高	450.6	455.8	+5.1	+1.1%
	セグメント利益 (率)	15.1 (3.4%)	14.2 (3.1%)	△0.8	△5.6%
電子事業	売上高	170.5	159.6	△10.9	△6.4%
	セグメント利益 (率)	△6.7 (－%)	3.1 (2.0%)	+9.8	－ %
合計	売上高	621.2	615.4	△5.7	△0.9%
	営業利益 (率)	8.4 (1.4%)	17.4 (2.8%)	+9.0	+107.3%

© 2021 FDK CORPORATION

■次に、セグメント別の情報です。

■電池事業の売上高は、前年度に比べ5.1億円増加の455.8億円、セグメント利益は0.8億円減少の14.2億円となりました。

■電子事業の売上高は、前年度に比べ10.9億円減少の159.6億円、セグメント利益は9.8億円改善の3.1億円となりました。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

セグメント別情報（売上概況）

FDK

（単位：億円）

		2019年度	2020年度	前年度比	
					増減率
電池事業	売上高	450.6	455.8	+5.1	+1.1%
	セグメント利益（率）	15.1（3.4%）	14.2（3.1%）	△0.8	△5.6%
	■ニッケル水素電池	【増収】	・北米・欧州向け市販用途向けインターネット販売や医療機器のバックアップ用途向けが増加 ・工業用途向けなどが減少		
	■アルカリ乾電池	【増収】	北米での市販用途向けインターネット販売が増加		
	■リチウム電池	【増収】	国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが増加		
	■設備関連ビジネス	【減収】	自動車用部品設備の受注が減少		
電子事業	売上高	170.5	159.6	△10.9	△6.4%
	セグメント利益（率）	△6.7（－%）	3.1（2.0%）	+9.8	－ %
	■事業譲渡分	【減収】	前期に実施した一部事業譲渡により売上が減少		
	■トナー	【減収】	市場における在庫調整や受注延伸で減少		

© 2021 FDK CORPORATION

■次に、セグメント別の売上概況です。

■ニッケル水素電池は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴なう影響により工業用途向けなどで減少したものの、北米・欧州での市販用途向けインターネット販売や医療機器のバックアップ用途向けが増加し、前年度を上回りました。

■アルカリ乾電池は、北米での市販用途向けインターネット販売が増加し、前年度を上回りました。

■リチウム電池は、国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが増加し、前年度を上回りました。

■設備関連ビジネスは、米中の貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響で自動車用部品組立設備受注が減少したことにより、前年度を下回りました。

　その結果、電池事業全体の売上高は、前年度に比べ５.1億円増加の455.8億円となりました、セグメント利益は0.8億円減少の14.2億円となりました。

■続いて、電子事業は前年度に実施した一部事業の譲渡による売上減に加え、市場における在庫調整や受注延伸の影響を受け、トナーなどが減少したことにより、前年度に比べ10.9億円減少の159.6億円となり、セグメント利益は9.8億円改善の3.1億円となりました。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

2021年度（通期）見通し

FDK

（単位：億円）

	2020年度（実績）	2021年度（予想）	前年度比	増減率
売上高	615.4	600.0	△15.4	△2.5%
営業利益 （営業利益率）	17.4 （2.8%）	19.0 （3.2%）	+1.5	+9.0%
経常利益 （経常利益率）	12.7 （2.1%）	15.0 （2.5%）	+2.2	+17.7%
当期純利益※ （当期純利益率）	20.0 （3.3%）	16.0 （2.7%）	△4.0	△20.4%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	58.24円	46.37円	△11.87円

為替レート （円/1USD）	105.79円	105.00円	△0.79円
（円/1EUR）	123.22円	120.00円	△3.22円

© 2021 FDK CORPORATION

■次に、2021年度の見通しです。
■売上高は、600億円で15.4億円の減収。
■営業利益は、19億円、純利益は16億円の見通しです。
■為替レートは、1USドル、105円、1ユーロ、120円を想定しております。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

FDK

中期事業計画「R1」の進捗状況

© 2021 FDK CORPORATION

■ここからは、中期事業計画「R1」の進捗状況について、ご説明いたします。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

経営理念、Vision

FDK

経営理念

進化に挑戦　輝く未来と笑顔のために
Inspiring transformation; shaping the future and creating happiness.

Vision

FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、
先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを
安心して効率的に活用いただき、
持続可能な社会の実現と発展に貢献します

© 2021 FDK CORPORATION

■当社が2020年度に創立70周年を迎えた節目の年として、従業員一丸となって新生 FDKとして歩み出したいという思いから、制定した経営理念、および10年後のあるべき姿をとして定めた「10年の計」におけるVisionです。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

中期事業計画「R1」（再掲）

FDK

1. Vision
FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します

2. あるべき姿（Visionが達成されたと言える状態）
誰に：人々の暮らしと社会を支える企業と個々のユーザーに
何を：クリーン且つ、安全な電気エネルギーを安定的に活用できるオファリングをお届けする
（電池/ものづくり, 次世代電池, パワーマネジメントソリューション）
いつ：2029年（10年後）
目標：売上800億円（うち新事業 30%）/ 営利目標 7.5%

「10年の計」の最初の3年は、ステップアップの準備期間として、基本的なことに集中する
FY19は"Year 0" として構造改革/ 事業改変を継続。R1（FY20-22）は、Year 0込みで RoIを最大化

FDKグループは、Visionとあるべき姿の実現に向かって、2022年度までに
1）現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立し、
2）次世代へつながる新事業を積極的に開拓し、
3）各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成　に努めます

© 2021 FDK CORPORATION

■次に、2020年4月にスタートした中期事業計画「R1」のVision、およびあるべき姿です。

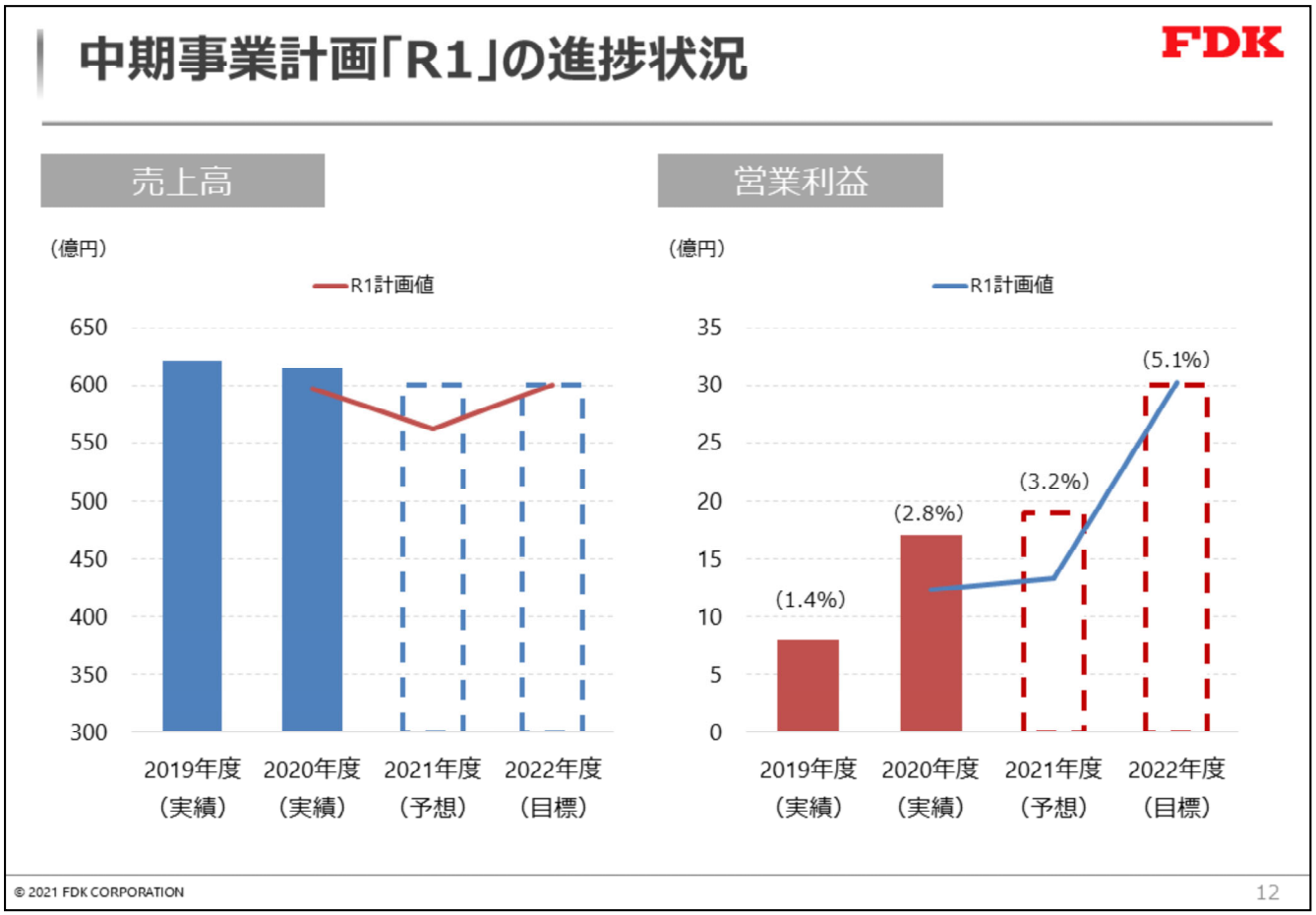
■中期事業計画「R1」の3年は、ステップアップの準備期間として、基本的なことに集中し、Visionとあるべき姿の実現に向かって、2022年度までに、

1) 現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立し、

2) 次世代へつながる新事業を積極的に開拓し、

3) 各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成に取り組んでおります。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved



■中期事業計画「R1」の進捗状況です。

■2020年度実績は、売上高600億円、営業利益17億円となりました。

　2021年度予想は、売上高600億円、営業利益19億円となり、これまでのところ「R1」計画を上回る進捗となっており、最終年度である2022年度は、売上高600億円、営業利益30億円を目指します。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

R1事業ポートフォリオの進捗状況

FDK

1）現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立

製 品	テーマ	進捗状況
ニッケル水素電池	5本柱（家電/車載アクセサリ/電源バックアップ/モビリティ/社会インフラ）を中心としたCash Cow	業界最高水準の長寿命（当社調べ）を実現した「HR-AAAUTU」を量産開始。セキュリティ機器、計測器、非常灯、誘導灯、医療機器、その他バックアップ機器へのさらなる拡販を推進中
リチウム電池	車載はじめとする新アプリ商談拡大第二の稼ぎ頭へ	2020年2月のプレスリリースのとおり、鳥取工場の組立ラインを増設し、2021年4月より生産能力を25%増強。高容量モデル（CR17500EPK）を追加し、さらなる拡販を目指す
アルカリ乾電池	国内付加価値強化ブランド再構築	インドネシア生産子会社の譲渡および海外販売体制を見直し。国内市販ビジネスは製販一体の体制とし、同業他社連携強化も併せて取り組み中
エンジニアリング	車業種ビジネス強化ものづくり力の底上げ	車業種の投資抑制などにより2020年度は減収となったが、新分野の設備商談を獲得に向け取り組み中
電子事業	事業価値の向上新コンセプト模索	各製品モデル毎に選択と集中を継続。モビリティ用途向け各種モジュール、半導体装置用途などに注力

2）次世代へつながる新事業を積極的に開拓

製 品	テーマ	進捗状況
全固体電池	量産開始：2020年度3Q	2020年12月度に当社湖西工場内に生産体制の整備を行ない、生産を開始
ニッケル亜鉛	量産開始：2022年度	鉛電池代替用途に開発中。2021年度上期にサンプル提供予定
水素/空気二次電池	フィールド試験：2022年度	1.2kWhの蓄電モジュールにて、2022年度にフィールド試験を開始予定

© 2021 FDK CORPORATION

■ここでは、中期事業計画「R1」における事業別ポートフォリオの進捗状況につきご説明いたします。
　まずは、現行ビジネスの安定化と利益ある成長および新事業の開拓につきましては、初めに、”現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立”の進捗です。
■ニッケル水素電池は、業界最高水準の長寿命を実現した「HR-AAAUTU」を量産開始。セキュリティ機器、計測器、非常灯、誘導灯、医療機器、その他バックアップ機器へのさらなる拡販を推進中。
■リチウム電池は、2020年2月のプレスリリースのとおり、鳥取工場の組立ラインを増設し、2021年4月より生産能力を25%増強。高容量モデル（CR17500EPK）を追加し、さらなる拡販を目指します。
■アルカリ乾電池は、インドネシア生産子会社の譲渡および海外販売体制を見直し。国内市販ビジネスは製販一体の体制とし、同業他社連携強化も併せて取り組み中です。
■エンジニアリングは、車業種の投資抑制などにより2020年度は減収となりましたが、新分野の設備商談を獲得に向け取り組み中です。
■電子事業は、各製品モデル毎に選択と集中を継続。モビリティ用途向け各種モジュール、半導体装置用途などに注力しております。

　次に、”次世代につながる新事業を積極的に開拓”の進捗です。
■全固体電池は、2020年12月度に当社湖西工場内に生産体制の整備を行ない、生産を開始しました。
■ニッケル亜鉛電池は、鉛電池代替用途に開発中。2021年度上期にサンプル提供予定です。
■水素/空気二次電池は、1.2kWhの蓄電モジュールにて、2022年度にフィールド試験を開始予定です。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

R1事業ポートフォリオの進捗状況

FDK

3）各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成

経営理念／新制服の決定、人事制度を改定、タレントマネジメントの実施、
従業員満足度調査／組織活性化教育と対策実施、社内改善活動の改編、
道場（多分野で教えたい・教えてもらいたい従業員同士が、知識、教養、経験など自己研鑽のための活動）開始

「組織活性化研修」風景

新制服イメージ

「道場」風景

© 2021 FDK CORPORATION

■続いて、3つ目の企業文化の醸成の進捗です。
■2020年度においては、経営理念／新制服の決定、タレントマネジメントの実施、人事制度を改定、権限移譲、従業員満足度調査／組織活性化教育と対策実施、社内改善活動の改編、道場の開始といった取り組みを実施いたしました。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または有価証券報告書を参照していただきますようお願いいたします。

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved

FDK

確かな技術　育てる未来

Copyright 2021 FDK CORPORATION All right reserved